

令和8年度 教 育 計 画						学校番号 12	
四国中央市立寒川小学校							
校長名	寺尾 晃代	学級数	10 (2)	児 童 生徒数	215	教職員数	15
経営の基本方針 (1) 児童一人一人の良さを認め、伸ばし、豊かに自己実現を図ることができる学校づくり (2) 全教職員が使命感を持って学校の実践的課題に主体的に取り組み、組織力を生かした学校づくり (3) 学校・家庭・地域の連携・協働を強化し、家庭・地域から愛され信頼される学校づくり 令和8年度 寒川小学校グランドデザイン 一人一人の命が輝く コ ミ ス ク 寒 川 学校の教育目標 ふるさとを愛し とともに伸びる 児童の育成 こどもが まんなか 明るく元気な子 よく考えがんばりぬく子 いたわり励まし合う子 さくらっ子の約束 学校運営協議会 宇摩の子の誓い 家 庭 学校運営協議会 地 域 望ましい生活習慣 家庭学習習慣の定着 PTA 活動の活性化 学校運営協議会 目標・ビジョンの共有 学校支援体制の構築 教育活動の質向上・業務改善 交通安全・災害安全 教育活動への参画 学校間の連携・協力 人権・同和教育の推進 「いのち」を核とした 防災・減災教育の充実 連携・協働							

重点 目 標	1 地域と一体となった信頼される学校づくりの推進
	○ 地域への積極的な情報発信
	○ 地域の人的・物的資源を生かした教育課程の編成
	○ 学校評価を生かした学校運営の改善
重点 目 標	○ 学校支援体制の構築、働き方改革についての理解促進
	2 健やかな体を育てる教育の推進・・・「明るく元気な子」
	○ 基本的な生活習慣の確立（あいさつ、はきもの、はいの返事、立腰）
	○ 体力づくりの推進（外遊びの奨励、ITスタジアムへの参加）
重点 目 標	○ 命を守る取組（防災・減災教育、SDGs）
	3 確かな学力を育てる教育の推進・・・「よく考えがんばりぬく子」
	○ 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着
	○ 協働的な学びの推進
重点 目 標	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
	○ 個別最適化された学びの推進（1人1台端末の活用、放課後学習の実施）
	4 豊かな心を育む教育の推進・・・「いたわり励まし合う子」
	○ 多様性の理解及び互いの良さを認め合う仲間づくり
重点 目 標	○ 人権尊重の理念を基盤とした人権・同和教育の推進
	○ 「特別の教科 道徳」を要とした心に響く道徳教育の推進
管 理 運 営	1 人的管理
	○ 教職員の資質能力の向上（1人1台端末を有効活用した授業改善）
	○ 綱紀保持と服務規律の徹底
	（交通事故・違反の根絶、体罰・ハラスメント防止）
管 理 運 営	○ 教職員の心身の健康と「働き方改革」を意識した業務改善
	○ 組織の一員としての自覚と協働する風通しの良い職場づくり
	2 物的管理
	○ 教育の場にふさわしい豊かな情操を育む教育環境の整備
管 理 運 営	○ 施設・設備の安全管理と事故防止
	○ 非常変災に備える防災体制と地域と連携した防災管理体制の整備
	3 事務管理
	○ 校務分掌事務の的確・迅速な処理と責任体制の確立
管 理 運 営	○ ICTの活用による事務処理の効率化
	○ 経理事務の厳正な執行と個人情報の適切な管理
本 校 教 育 の 特 色	本校は、明治8年に寒川千代小学校として創立され、昨年度で150周年を迎えた。
	また、コミュニティ・スクールとして6年目を迎え、家庭や地域との連携を深め、
	協力を得ながら、ふるさとを愛し、未来を担う児童の可能性を引き出す教育を進め
	ている。八幡丸舟唄に代表される伝統文化の継承をはじめ、地域の人的・物的資源
本 校 教 育 の 特 色	を積極的に活用した教育活動に取り組み、特色ある学校づくりを推進している。「こ
	どもがまんなか」を合言葉に、いのちを核とした人権・同和教育や防災教育に重点
	を置き、地域との連携を通じて豊かな心を育むとともに、安全指導や防災学習を充
	実させ、防災管理体制を整備している。